

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【公開番号】特開2015-69590(P2015-69590A)
【公開日】平成27年4月13日(2015.4.13)
【年通号数】公開・登録公報2015-024
【出願番号】特願2013-205677(P2013-205677)
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0481 (2013.01)

G 0 6 F 3/0489 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 8 B

G 0 6 F 3/048 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月26日(2016.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

関連する入力項目をグループ化した複数の項目グループを含むアプリケーション画面を表示し、既定のキーが押下された場合に入力項目の表示順に従って入力項目間でフォーカスを遷移させることが可能な情報処理装置であって、

前記複数の項目グループを含むアプリケーション画面の表示データから、事前に定義された該複数の項目グループの順序を取得する順序取得手段と、

特定キーが押下された場合に、前記順序に従って遷移先の項目グループを決定し、該遷移先の項目グループに含まれる特定の入力項目にフォーカスを遷移させるフォーカス制御手段

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記フォーカス制御手段は、特定キーが押下された場合に、前記順序に従ってエラー項目を含む項目グループを遷移先の項目グループとして決定し、該遷移先の項目グループに含まれるエラー項目にフォーカスを遷移させることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記フォーカス制御手段は、前記アプリケーション画面の一表示画面の範囲内でフォーカスを遷移させることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記フォーカス制御手段は、前記特定キーとは別の特定キーが押下された場合に、前記特定キーが押下された場合の逆順にて遷移先の項目グループを決定することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

関連する入力項目をグループ化した複数の項目グループを含むアプリケーション画面を表示し、既定のキーが押下された場合に入力項目の表示順に従って入力項目間でフォーカスを遷移させることが可能な情報処理装置の制御方法であって、

前記複数の項目グループを含むアプリケーション画面の表示データから、事前に定義さ

れた該複数の項目グループの順序を取得する順序取得ステップと、

特定キーが押下された場合に、前記順序に従って遷移先の項目グループを決定し、該遷移先の項目グループに含まれる特定の入力項目にフォーカスを遷移させるフォーカス制御ステップ

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項6】

関連する入力項目をグループ化した複数の項目グループを含むアプリケーション画面を表示し、既定のキーが押下された場合に入力項目の表示順に従って入力項目間でフォーカスを遷移させることが可能な情報処理装置において実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

前記複数の項目グループを含むアプリケーション画面の表示データから、事前に定義された該複数の項目グループの順序を取得する順序取得手段と、

特定キーが押下された場合に、前記順序に従って遷移先の項目グループを決定し、該遷移先の項目グループに含まれる特定の入力項目にフォーカスを遷移させるフォーカス制御手段

として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、関連する入力項目をグループ化した複数の項目グループを含むアプリケーション画面を表示し、既定のキーが押下された場合に入力項目の表示順に従って入力項目間でフォーカスを遷移させることが可能な情報処理装置であって、前記複数の項目グループを含むアプリケーション画面の表示データから、事前に定義された該複数の項目グループの順序を取得する順序取得手段と、特定キーが押下された場合に、前記順序に従って遷移先の項目グループを決定し、該遷移先の項目グループに含まれる特定の入力項目にフォーカスを遷移させるフォーカス制御手段を備えることを特徴とする。